

2016 年度

アメリカ夏期セミナー報告書

実習先：ノースウェストミズーリ州立大学

実習期間：8月24日～12月18日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015012
伊東茉優

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4-1 研修のスケジュール	4
	4-2 研修の詳細	5
5	所感	7
6	終わりに	7
	謝辞	8

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：ノースウェストミズーリ州立大学

研修期間：8月24日（水）～12月18日（土）

※帰国は19日

2 研修先概要

（1）大学について

ノースウェストミズーリ州立大学は、ミズーリ州メリーベル市に位置する。メリーベル市は人口11000人ののどかな地方で自然も多い。本校は1905年に創立され学生の数は約7000人であり、アメリカのほか38か国から生徒が学びに来ている。127の学部と40の大学院で構成されており、主にビジネス、教育、地理学、農業部門の学部は毎年多くの生徒が最も多く卒業している。敷地内にはいくつもの寮があり、一年生の間は寮で暮らす規則がある。また、アメリカンフットボールが強いことでも有名であり、多くの試合で優勝した実績を持っている。マスコットキャラクターはベアキャットである。

（2）大学で行われている教育について

ノースウェストミズーリ州立大学は、質の高い教育を行っている。今回お世話になった語学コースは英語を母語としない学生に英語を教育するものである。英語がどのくらい得意かでクラスをわけるため、本人の英語のスキルに合わせて勉強することができる。日本人生徒のほかに中国、韓国、メキシコ、サウジアラビアからの留学生を受け入れている。授業のほかに、ノースウェストミズーリ大学の学生とイベントに参加したり話したりする宿題が出されるためスピーキング力やリスニング力を高めたりアメリカの文化を学べたりする。

3 研修目的

今回の研修の目的は英語力を上げることと、海外の文化や人に触れることである。中学生の時から現在まで英語を学んできているが、日常のなかであまり英語を使って話す機会が無いからか、スピーキング力やリスニング力が乏しく感じた。将来、英語に関わる仕事に就いたときにスピーキング力、リスニング力が無ければ英語でコミュニケーションをとることもままならない。そのため、英語を母語としたアメリカに留学することによって英語を使わなければいけない環境を作り、英語を話す機会や、ネイティブな英語を聞く機会が格段に増え、自分の英語によるコミュニケーション能力も改善できるのではないだろうかと考えた。加えて、その経験をもとに英語に対するモチベーションを上げ、英検やTOEICで良いスコアをとることを目標とした。

また、アメリカに留学することによって日本とは違う世界の文化や人の考えを知ることが目的とした。日本でアメリカの文化を学んでもあまり実感しないことが多い。現地に行って自分の目で見て体験することによってしっかり隅々まで学びたいと感じた。また、ア

アメリカは多くの人種が一緒に生活している。そのため多くの文化や、様々な考え方をもち人々がいると考え身をもって体験したいと考えた。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 研修のスケジュール

月	日 (曜日)	
8	24 (水)	到着
	25 (木)	チェックイン
	26 (金)	キャンパスツアー
	29 (月)	プレースメントテスト
	30 (火)	ESL クラス
	31 (水)	ESL クラス、CP
9	1～7	ESL クラス
	8～14	ESL クラス、CP, AB、アメフト観戦、FIS ファミリーと会う
	15～21	ESL クラス、CP, AB、フィールドトリップ、ピアノコンサート、バレーボール観戦
	22～29	ESL クラス、CP, AB
10	1～7	ESL クラス、CP, AB
	8～14	ESL クラス、CP, AB、レクリエーション
	15～21	テスト
	22～29	ESL クラス、CP, AB、フィールドトリップ、フラッグレイジング、ホームカミングパレード
11	1～7	ESL クラス、CP, AB、ペイント
	8～14	メキシカン卒業ディナー
	15～21	ESL クラス、CP, AB、バスケットボール観戦
	22～29	高校訪問、サンクスギビング
	30、31	ESL クラス
12	1～7	ESL クラス、テスト、CP、AB、ツリー点灯式
	8～14	テスト
	15～18	卒業パーティー、帰国

4-2 研修の詳細

1)チェックイン

パソコンのアカウントや e-mail アドレス、学生証の作成を行った。学校の規則などの説明会も行われた。

2)キャンパスツアー

ゲーム形式で学校内の建物を巡った。図書館の使い方も教えてもらった。

3)プレースメントテスト

クラス分けのテストをパソコンを使って行った。内容は文法とリーディングで選択問題形式。

4)ESL クラス

英語について学ぶ授業であった。内容はリーディング、文法、スピーキング・リスニング、カルチャー、TOEIC に分かれている。発言や周りの生徒と話し合うことも重視されている。ほぼ毎日、復習や予習の課題が出された。

5)CP

ESL の生徒二人に対し、ネイティブの学生一人が週に一回、放課後一時間会話をする制度。内容は自国の文化を紹介しあう 7、アメリカで体験したこと、将来の夢など様々。リスニングやスピーキング力が高まるだけでなく、アメリカの文化を学ぶ良い機会になる。

6)AB

ESL の生徒一人に対し、ネイティブの生徒一人か二人が週に一回、放課後などにイベントに参加する制度。学校内のイベントだけでなく、ショッピングやボーリングなどで遊ぶこともあった。

7)アメフト観戦

ノースウェストミズーリ州立大学のアメリカンフットボールの試合を観戦した。この大学はアメフト部が強いことが有名で、試合はもちろん勝利した。試合は圧巻だった。

8)FIS ファミリーと会う

FIS ファミリーとは、家に招いていただいたりサンクスギビングの時にホームステイさせていただいたりとお世話になるファミリーのことである。FIS ファミリーの Jenny Wall さんとその家族に会い、自己紹介をした。

9)フィールドトリップ

ESL クラスの生徒たち全員でバスに乗り一日出かけた。9月のフィールドトリップは動物園とショッピングモールへ行き、10月のフィールドトリップは美術館とショッピングに行った。移動中は英語で隣の席のクラスメイトと協力してゲームで遊んだ。

10)ピアノコンサート

学校内でピアニスト二人のコンサートを鑑賞した。リクエストを募って演奏することもあり観客が一体となって盛り上がった。洋楽やゲームの BGM を演奏された。

11)バレーボール観戦

ノースウェストミズーリ州立大学の女子バレーボール部の試合を観戦した。

12)レクリエーション

夜、学生たちがバドミントンやドッジボール、サッカーなど様々な種目に参加して楽しんだ。

13)フラッグレイジング

キャンパス内にある、各国の国旗を掲げる式典。各国から来た生徒が旗を掲げる。民族衣装を着ている生徒もあり、様々な国からこの学校に生徒が来ていることを実感した。日本人生徒は、何人かの生徒が着物を着て参加した。

14)ホームカミングパレード

たくさんの人々が仮装をして、車などの乗り物をデコレーションして練り歩くのを見た。人がたくさん集まり、大きなイベントだった。

15)ペイント

ESL 生徒たちが集まって、絵を描くイベントに参加した。テーマは夕方の、キャンパス内にあるベルタワーである。様々な色を作って全員が自分のキャンパスに描いた。

16)メキシカン卒業ディナー

同じ ESL クラスのメキシコ人生徒の卒業ディナーを A&G というレストランで行った。食事をしたり会話をしたり、写真を撮ったりと、最後にメキシコ人生徒たちと思い出を作った。

17)バスケットボール観戦

ノースウェストミズーリ州立大学の男子バスケットボール部の試合を観戦した。

18) 高校訪問

メリーベル市にある高校に訪問し、高校生と一緒に授業に参加した。歴史やスペイン語の授業に参加した。日本の学校と違うことが直に学べた。

19) サンクスギビング

サンクスギビングの間は学校が閉鎖されているので、ホストファミリーの家にホームステイをさせてもらった。サンクスギビング中はターキーを食べたりイルミネーションを見たり街へ出かけたりと、学校内ではできなかったこともたくさん経験できた。アメリカの民家に泊まったことで、アメリカの文化への理解をさらに理解することができた。

20) ツリー点灯式

キャンパス内の大きなツリーの点灯式を行った。子供たちにお菓子や生活用品を贈ったり、焼いたマシュマロにビスケットを挟んだスモアを食べたりした。

21) 卒業パーティー

ESL クラスの生徒たちの卒業パーティーが行われた。卒業証書を受け取り、お世話になった人たちを招待して最後の挨拶をした。

5 当初目的・目標の達成度

今回の目的達成度についてそれぞれまとめる。

- i) スピーキング力、リスニング力をあげること
留学した当初は英語を聞き取るのが精一杯だった。しかし、授業や週に一回あるカンバゼーションやアクティビティによるパートナーとの会話を通して最終的には相手が何を言っているのかしっかり理解できるようになり、会話も始めよりスムーズにできるようになった。TOEIC のスコアも留学前のものから 90 点も上回ることもできた。しかしこの状況に満足せず、さらに上を目指したい。
- ii) 海外の文化、人の考えを学ぶこと
ホームステイやカンバゼーションパートナー、アクティビティバディとの会話によって日本にはない文化や考え方を学ぶことができた。クラスメイトとの会話を通してアメリカの文化だけではなく、韓国やメキシコの文化も知ることができた。日本にはない文化も理解し、それに順応することができとても良い体験になった。

7 反省・課題

約四か月の中で英語のスキル上達、海外の学生とコミュニケーションをなど、非常に多くの貴重な体験ができた。

この体験を踏まえて今後も英語の積極的な学習や異文化の理解をしていきたい。また、この経験を無駄にしないようにして多くのことを積極的に取り組みたい。

謝辞

今回、ノースウェストミズーリ州立大学 ESL クラスで懇切丁寧な指導をしてくださった Nancy Hardee さん、Helen Konstantopoulos さん、ホストファミリーの Cassie Lynn Trader さん、Brian Trader さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の夏季セミナー担当で 2016 年度前期の授業、夏季セミナーの現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本直生先生、矢口裕子先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学から頂きました奨学金により、本セミナー参加が実現し、誠に有意義な体験ができたことを心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月24日 水曜日 午前
出発 11:19 新潟駅
担当 矢口裕子先生
内容 ・新潟駅から東京駅まで新幹線で移動 ・東京駅から成田空港までバスで移動 ・ダラスで入国審査 ・ダラスからカンザスシティまで飛行機で移動

移動の所感

一日中移動するのは疲労がたまった。特に成田からダラスまでは約 12 時間ありそれに加え、カンザスまでの飛行機に乗り遅れるというハプニングもあり、疲れるものだった。ノースウェストミズーリ州立大学に着いたのは夜遅くで、手続きをして解散した。

8月25日 木曜日
New student check-in
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos
内容 ・学校用 e-mail アカウントを作る ・ベアキャットカードを作る ・全員で朝食・昼食を食べる ・ウォルマートまで連れて行ってもらう

具体的内容及び所感

前日の移動の疲労感がとれないままだった。朝からやることが多く、休む暇もなかった。ベアキャットカードは学生証のようなもので、ユニオンで食事するときにも使う。ウォルマートは広いスーパーマーケットで、足りない日用品などを買い足した。

8月26日 金曜日
Campus tour
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos
内容 ・キャンパス内の様々な建物を巡る ・図書館の使い方を教えてもらう

具体的内容及び所感

この日は午後からで午前中はゆっくりすることができた。5人くらいに分かれ、ヒントを頼りに特定の建物の近くで写真を撮るというゲーム感覚でツアーを行った。また、図書館内を案内してもらい、本の貸し出しの仕方を教えてもらった。

8月29日 月曜日
ESL placement test
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos
内容 ・クラス分けテストを行った。

具体的内容及び所感

パソコンを使いクラス分けのためのテストが行われた。内容はリーディングと文法でそこまで難しくないように感じられた。

8月30日 火曜日
ESL classes begin
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos
内容 ・通常クラスが開始された。

具体的内容及び所感

ESL クラスが始まった。新潟国際情報大学から来た留学生と初めて顔を合わせた。この日

は授業内容の説明を聞いたり自己紹介をしたりした。どのクラスも発言を重視し、周りの生徒と意見を言い合うなどの会話練習が取り入れられていた。日本人以外の留学生もいるので、意見を言い合う中でお互いの国の文化を知ることもできた。

8月31日 水曜日
Meet conversation partner
担当 Madeline Blair
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・カンバゼーションパートナー制度の説明 ・カンバゼーションパートナーと挨拶

具体的内容及び所感

カンバゼーションパートナー (CP) の Madeline さんと初めて会った。この日は日本人留学生 3 人に対し、一人の CP で会話をした。自分の紹介や家族の紹介をした。ネイティブの人と長時間話すこと自体が初めてだったが、Madeline さんが質問しいろいろ聞き出してくださったのでなんとか話すことができた。

9月9日 金曜日
Meet activity buddy
担当 Mary Mahoney, Samantha Shafar
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティバディ制度の説明 ・アクティビティバディと挨拶

具体的内容及び所感

アクティビティバディ(AB)の Mary Mahoney さん、 Samantha Shafar さんと初めて会った。AB は留学生一人に対し AB が 1～2 人つく。この日はお互いの自己紹介をしたが、人に頼らず英語で会話をする難しさを再認識した。何回も聞き直したり、たどたどしい英語で答えたりしたが、この留学中に聞き直すことなくすらすら英語で答えられるようになるという明確な目標ができた。

9月16日 金曜日
Field trip
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ESL クラスの生徒たちで動物園、ショッピングモールに行った。

具体的内容及び所感

留学して、初めてメリーベル市を出て、観光をした。午前は動物園、午後はショッピングモールで買い物をした。行きのバス内では英語を使って隣の席と仲良くなるゲームをした。帰りは映画を見た。動物園もショッピングモールも広く、時間内では全部を見ることができなかったが良い思い出ができた。

10月27日 木曜日
Field trip
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos
内容 ・ESLクラスの生徒たちでカンザスシティに行った。

具体的内容及び所感

二回目のフィールドトリップに行った。この日はカンザスシティの美術館、ショッピングに行った。バスの隣はメキシコ人で、前回同様英語を使ってゲームを行った。また空き時間にはお互いの文化について教えあった。美術館はとても広く、様々な作品が多く展示してあった。ショッピングは前回のショッピングモールとはまた違う、ショップが多く立ち並んでいた。

11月22日 ~ 11月27日
Thanks giving day
担当 Cassie Lynn Trader, Brian Trader
内容 ・Cassie Lynn Trader さんの実家、オマハ州にホームステイをした。 ・お菓子の家づくり ・パイづくり ・ネブラスカ州に食事・買い物をしに行く

具体的内容及び所感

サンクスギビングで学校が閉鎖、留学生はホームステイとなった。ノースウェストミズーリ州立大学の学生の Cassie Lynn Trader さんの実家で過ごすことになったが、ターキーやパイを食べたり、イルミネーションを見たりして過ごした。ホームステイではアメリカの家の文化を直に学べる機会であった。

12月15日 木曜日
Japanese students's graduation party
担当 Hardee Nancy, Helen Konstantopoulos

内容

- ・卒業証書を受け取った。
- ・クラスメイトや先生、CP とお別れの挨拶をした。

具体的内容及び所感

お別れ会を行った。仲良くなった方たちを招待して、感謝の気持ちを表した。また、日本の文化を最後に知ってもらうため、日本食を作ったりソーラン節を踊ったりなど、盛り上がる会になった。たくさんの人たちと写真を撮り、最後の思い出を作ることができた。